

事業完了報告書（実行団体）

事業名:	木地師のふるさと 新型コロナウイルス対策
資金分配団体名:	公益財団法人東近江三方よし基金
実行団体名:	木地師のふるさと高松会
実施時期:	2021年5月～2022年2月
事業対象地域:	滋賀県東近江市
事業対象者:	木地師のふるさとに居住する地域内住民、木地師のふるさとで活動する若者や高齢者、木地師のふるさとで交流する地域外住民

Version 3.2

日付: 2022年3月1日

I. 事業概要

事業実施概要	本事業では、新型コロナウイルス感染症の影響による、当地の「居場所づくりやコミュニティ活動の消失」という「深刻な課題」を解決するため、緊急対策として「古民家の再生と活用による新しい交流体制の確立」に挑戦した。古民家という「小さな拠点」を整備することで、新型コロナウイルス感染症の影響下でも「人数を限定」した「安心・安全な交流が目指せる」ほか、古民家の再生と活用によって「限界集落地域の社会課題も同時解決」し、地域内住民の「働く場（居場所）づくり」や「安心・安全に暮らせるコミュニティづくり」を確立することで、地域を「未来へ継承するため」の「交流人口・関係人口の獲得」という、本質的な課題の解決を目指した。
--------	---

II. 課題・事業設計の振り返り

課題設定、事業設計に関する振り返り	本事業に取り組んだ結果、計画通り「拠点整備」が完了し、古民家という「小さな拠点」が整備されたことで、新型コロナウイルス感染症の影響で「居場所づくりやコミュニティ活動の消失」という「深刻な課題」を抱えていた当地において、コロナ禍においても「安心・安全な交流ができる」拠点が整備され、地域内外の交流は元より、地域内における「未来への希望を語り合える場所」ができ、「限界集落地域における根本的な社会課題の解決」を目指すための「大きな一歩」を踏み出すことができた。 実際に、10月23日～24日のオープニングイベントにおいては、コロナ禍でありながら「地域住民や関係諸団体50名ほど」が参集し、盛大に幕を開けることができたほか、11月3日の一般公開以降「毎週末の定期開館」において、スタッフを含め「100名ほど」の利用者を数えたほか、地域内外の「集会・イベント活用」として「延べ150名ほど」の交流拠点として活用することができ、まさに課題設定と事業設計の妥当性を示す結果とすることができた。
-------------------	---

III. 今回の事業実施で達成される状態（アウトプット）※複数設定の場合はコピーし複数記載ください。

①受益者	②課題	③今回の事業実施で達成される状態（アウトプット）	④指標	⑤目標値・目標状態	⑥結果	⑦考察
コロナで影響を受ける従事者	居場所の不足	地域内における「高齢者等の地域住民」と地域外の「交流・関係人口者」が、「安心して交流できる拠点」を整備する。	「木地師のふるさと交流館」を整備する。	古民家の改修 1軒	古民家の再生 1軒	計画通り、10月23日のオープンを迎えることができ、地元住民の想定以上の高評価と、「地域の未来への希望の足掛かり」を育てることができた。
コロナで影響を受ける従事者	事業実施上の困難	コロナ禍においても「安心・安全な交流が目指せる」小さな拠点を整備し、「人数を限定」した「交流イベント等」を実施する。	交流イベント等の開催	参加人数 約300名	参加人数 約300名	計画通り、地域内外の「交流・関係人口」づくりに向けた「交流活動」が実施できたものの、コロナの影響もあり、いくつかのイベントはできなかった。
コロナで影響を受ける従事者	事業実施上の困難	整備した交流館の「週末開放」と「平日予約開放」を実施して、地域内外の「関係人口」の「交流機会を創出・運営」する。	交流館の開放	毎週末の定期開館	週末開館 達成	計画通り、11月3日の一般公開以降、毎週末の定期開館を行うことができたが、12月以降は豪雪により閉館、来期以降に意欲を燃やしている状況だ。

IV. アウトカム（事業実施以降に目標とする状況）*

事業実施以降に目標とする状況	・木地師のふるさと内において、新しい「働く場（居場所）」として「古民家を再生」し、「木地師のふるさと交流館」として保全・活用する。 ・新型コロナウイルス感染症対策を施した「新しい交流イベント等を複数回企画」し、消滅してしまった「交流人口・関係人口づくりの輪」を再構築する。 ・地域内外の住民にとって「安心・安全に交流できる活動の拠点」を整備することで、木地師のふるさとを「30年先の未来へ継承」する。
考察等	本事業の実施により、木地師のふるさと内において、新しい「働く場（居場所）」として「古民家を再生」し、「木地師のふるさと交流館」として開館・オープンできたことで、新型コロナウイルス感染症の影響下において消滅してしまった「交流人口・関係人口づくりの輪」を再構築することができた。また、地域内外の住民にとって「安心・安全に交流できる活動の拠点」を整備したことで、来期以降は「毎土日・祝日の開館を計画」しているほか、「地域イベントでの活用」も視野に、すでに多くの事業計画を策定するなど、木地師のふるさとを「30年先の未来へ継承」するための礎を築くことができたことと実感している。

V. 活動

活動	進捗	概要
①「古民家の改修」と「木地師のふるさと交流館」の整備	計画通り	地域住民等への事前周知なども含めて、計画通り進めることができ、盛大な開館を迎えることができた。
② 拠点を活用した交流イベント等を実施する。	ほぼ計画通り	コロナや豪雪の影響で実施できなかったイベントもあるが、限られた機会ながらも交流機会を作ることができた。 実施できなかったイベント等に関しては、コロナの状況を鑑みながら、来期に向けて企画・計画を進めているところだ。
③ 交流館の「週末の常時開放」と「平日の予約開放」	計画通り	毎週末の常時開放も含めて、計画通り実施することができ、来期以降は更に回数を増やして実施する意気込みである。 富士フィルムの協力を経て、最高品質の「氏子狩り帳」のレプリカ、「能面」のレプリカ作成に取り組めた。

VI. 想定外のアウトカム、活動、波及効果など

想定外のアウトカム、活動、波及効果など	本事業を実施する中で「富士フィルム株式会社」との関係性が深まり、収益事業の受託など事業連携をしていく話が持ち上がった。
---------------------	---

VII. 事業終了時の課題を取り巻く環境や対象者の変化と次の活動

課題を取り巻く変化	新型コロナウイルス感染症の影響は未だ終息することはなく、高齢者が多い当地においては気遣う部分も大きいですが、それ以上に本事業によって整備された「交流館」の完成という事実は、当地における「未来への希望」という「精神的な支え」という意味で非常に大きいものになったと感じている。実際に、毎週末の開館によらず、定期的な集會や交歓会の実施により、来期以降への活動機運の高まりが見られるなど、今回の事業の実施により、地域の未来への足掛かりが見えたことで、地域課題を取り巻く環境としては大きく改善させることができたと考えている。
-----------	---

VIII. 他団体との連携

連携先	実施内容・結果
東近江市役所 歴史文化振興課	木地師のふるさとにおける、歴史文化の展示物等に関する監修・アドバイスを受けた。
富士フィルム株式会社	県の指定文化財のレプリカ作成を依頼したところから、地域資源を活用した新事業について連携をしていくことになった。

IX. インプット ※事業完了月の月次収支管理簿の金額を入力ください。(精算金額と一致させる必要はありません)

		計画額	実績額	執行率
事業費	直接事業費	9,010,490	9,010,490	100.0%
	管理的経費			#DIV/0!
合計		9,010,490	9,010,490	100.0%
補足説明		特になし		

X. 広報実績

広報内容	内容
1.メディア掲載 (TV・ラジオ・新聞・雑誌・WEB等)	京都新聞 (11/13) 中日新聞 (11/25) 滋賀報知新聞 (12/3) 地元広報誌 (12月号) 交流館のオープンについて掲載
2.広報制作物等 当該事業費を使って制作したもの	入館記念チケットや、木地師のふるさと紹介動画等の作成を行った。
3.広報制作物、購入物等でシンボルマークの活用方法 (事例)	交流館内等に掲示を行った。
4.報告書等	必要に応じて作成した。

XI. ガバナンス・コンプライアンス実績

①規程類※の整備実績 ※規程類：定款・規程及び準ずる文書類(指針・ガイドライン等を含む)	状況	内容
1.事業期間に整備が求められている規程類の整備は完了しましたか。	完了	
2.上記設問1で「整備中」の場合は、事業開始時と比較して、整備状況がどのように改善されたかを記載してください。		
3.整備が完了した規程類を自団体のwebサイト上で広く一般公開していますか。	未公開	自団体のWEBサイトが無いため。
4.変更があった規程類に関して資金分配団体に報告しましたか。	変更はなかった	
②ガバナンス・コンプライアンス体制	状況	内容
1.社員総会、評議員会、理事会は、規程類の定める通りに開催されていますか。	はい	
2.利益相反防止のための自己申告を定期的に行っていますか。	はい	
3.関連する規程類や資金提供契約の定めどおり情報公開を行っていますか。	はい	
4.コンプライアンス委員会またはコンプライアンス責任者を設置していましたか。	はい	
5.ガバナンス・コンプライアンスの整備や強化施策を検討・実施しましたか。	はい	
6.報告年度の会計監査はどのように実施しましたか。 (実施予定の場合含む) (複数選択可)	<input type="checkbox"/> 外部監査 <input checked="" type="checkbox"/> 内部監査 <input type="checkbox"/> 実施予定はない	監事による監査を実施する予定。
7.本事業に対して、国や地方公共団体からの補助金・助成金等を申請、または受領していますか。	いいえ	
8.内部通報制度は整備されていますか。	いいえ	現在整備中のため。

XII. その他

自由記述